

高等学校・ 家庭基礎・家庭総合	未来を築く 生活設計と家計管理の実践 (2025. 9)
----------------------------	--

1. 本時の位置付け

本時は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)及び同解説【家庭編】に記載されている以下の内容の一部と関連します。

展開①	【使う】 生活設計・ライフ プランニング	家庭基礎 C(1) ア 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解すること。 イ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察すること。 <解説> ・可処分所得や非消費支出の分析など具体的な事例を通して、家計の構造を理解する ・収支バランスの重要性とともに、リスク管理も踏まえた家計管理の基本について理解できるようにする ・各ライフステージの特徴と課題、家族構成や収入・支出の変化、生涯の賃金や働き方、社会保障制度などと関連付けながら考えることができるようにする ・将来を見通して、事故や病気、失業、災害などの不可避的なリスクや、年金生活へのリスクに備えた経済的準備としての資金計画を具体的な事例を通して考察できるようにする。 ・給与明細を教材に、可処分所得や非消費支出など家計の構造や収支のバランスについて扱った上で、高校卒業後の進路や職業も含めた生活設計に基づいて、具体的にシミュレーションすること
展開②	【使う】 家計管理とキャッシュ シュレス	・可処分所得や非消費支出の分析など具体的な事例を通して、家計の構造を理解する ・収支バランスの重要性とともに、リスク管理も踏まえた家計管理の基本について理解できるようにする ・各ライフステージの特徴と課題、家族構成や収入・支出の変化、生涯の賃金や働き方、社会保障制度などと関連付けながら考えることができるようにする ・将来を見通して、事故や病気、失業、災害などの不可避的なリスクや、年金生活へのリスクに備えた経済的準備としての資金計画を具体的な事例を通して考察できるようにする。 ・給与明細を教材に、可処分所得や非消費支出など家計の構造や収支のバランスについて扱った上で、高校卒業後の進路や職業も含めた生活設計に基づいて、具体的にシミュレーションすること

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類1 家計管理」、「分類2 生活設計」の学習内容を含んでいます。

2. 本時の目標

- ・ 家計管理・キャッシュレスの仕組みについて理解する。
- ・ 自分のライフプランを立て、家計の収支を管理し、実践に向けた計画を考え、工夫する。

3. 評価のポイント

- ・ 家計管理・キャッシュレスの仕組みについて理解している。
- ・ 自分のライフプランを立て、家計の収支を管理し、実践に向けた計画を考え、工夫している。

4. 本時の流れ ※「学習活動」及び「指導上の留意点」の#は、標準講義資料のスライド番号を示している。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
導入 5分	金融リテラシーの重要性	(問)あなたの夢は何ですか？(#4) ●金融リテラシーってなに？(#4) ○夢をかなえるために金融リテラシーが自身の生活にどう役立つかを考える(#5) ※ワーク1 ●18歳で成人すると、一人で契約ができるようになりトラブルに巻き込まれることもあることを、理解させる(#6)	・ #1～3 は概要のみ説明する。(これから学習する教材について見通しを持たせることができる) ・ 夢をかなえる力の一つである金融リテラシーを身につけることに関心を高め、学習の意欲や目標を持たせる。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
展開① 20分	【使う】生活設計・ライフプランニング	生活設計とは？ ●ライフプランニングの重要性について説明する(＃9) ○自分のライフプランを考え、グループで共有する。 ※ワーク1・2 ●具体的なライフプランの立て方について説明する(＃12) ●どんな仕事をしたいか、結婚、子ども、どこに住むか、何歳まで働くかなどを具体的に考えさせる ○大きな支出をとともうライフイベントについて、どのように必要な金額を用意したらいいか、生涯の収入と支出のイメージをつかむ(＃13、＃10～11) ※ワーク3 ○シミュレーションを使って実際にライフプランを立てる(＃14)	・夢をかなえるためにはどれくらいのお金がかかるか、いつまでにどのように準備するか、お金の計画を立てることも、夢を実現するために必要な能力であることを理解させる。 ・＃10～11は、補足として働き方による年収の違いを説明する。その際、年収の多寡によって仕事に優劣をつけることがないように留意する。 ※ワークに二次元コードを示すと活動を促すことができる
展開② 20分	【使う】家計管理とキャッシュレス	(問)就職先から月給は20万円と言われた。毎月20万円までなら使ってよい？(＃16～17) ●手取り収入を把握し、家計管理の例から、家計の適切な管理の重要性を説明する(＃18～20) ●大学生や社会人になった場合、高校生の時と比べてお金の使い道はどのように変化するか話し合わせる。 ○これからのお金の使い方を話し合い、必要なもの(ニーズ)と欲しいもの(ウォンツ)をリストアップし、計画的な支出を考える(＃21) ○キャッシュレス決済の仕組みとその利便性について理解する(＃22～24) ※ワーク4・5 (問)毎月残った金額を貯蓄していくと、貯蓄を増やしやすい？(＃25～26) ●先取り貯蓄や、積立などの貯める・増やす仕組みを説明する(＃27～29) ※ワーク6	・収入のすべてが得られるわけではなく、税や社会保険料など非消費支出の負担があることを理解させる。 ・高価な服を買うのは「ウォンツ」と言える。でも、兄弟の結婚式に着ていくとしたら、高価な服も「ニーズ」ともいえる。 ・キャッシュレス決済の普及により、支出の管理が複雑になっていることを理解させ、適切に管理する技能を身に付けさせる。 ・＃29は、発展的な学習内容であるため概要のみの説明でもよい。
まとめ 5分	本時の振り返り	●本時の学習を振り返り、これからどのような力を身に付けていこうと思うか、自分の課題を見つけるよう促し、ワークシートを記入させる。 ○生涯における収入と支出の見通しをもって経済計画を立て、家計を管理することの重要性が理解できたか、振り返りながら自分の考えを整理する。 ※ワーク7	・毎月の家計管理でも、人生全体においても、計画的に収支管理を行うことが大切であることに気付かせる。 ・ライフプランを立て、家計の収支を管理し、実践に向けた計画を考え、工夫しようとしているか評価する。

5. ワークシートの解答・解答例

ワークシート

未来を築く 生活設計と家計管理の実践

年	組	番	名前
---	---	---	----

1. あなたの夢は何ですか？ いっごろどんな夢をかなえたいかライフプランを考えてみよう

(省略)

2. 夢をかなえるために必要な力「金融リテラシーって何？」

経済的に^① 自立)し、よりよい生活に必要な「お金に関する^② 知識)や^③ 判断力)のこと

金融リテラシーを身につけることは^④ 安心した生活)に繋がる

3. 生涯の「収入、支出のイメージをつかみましょう

<生涯総収入>

① 労働 収入 (賃金)

退職金

年金

資産形成による増加分

その他

<生涯総支出>

② 生活 用

③ 教育 用

住宅費用

④ 老後 用

その他

*金融庁
ライフプランシミュレーター

※図は生涯総収入と生涯総支出の一例です

4. クイズ「就職先から給料は 20 万円と言われた。毎月 20 万円までなら使ってよい？」

☐ ○ ☒ × 理由: 総支給額がそのまま使えるのではなく、税金や社会保険料が差し引かれた後の手取り収入までが使える

5. ニーズとウォンツ

お金の使い方を考えるときは(優先順位)をつける

① ニーズの例を考えよう

食費・学費

② ウォンツの例を考えよう

ゲーム・アイドルのグッズ・カラオケ

6. クイズ「お金が貯まりやすいのはどちらでしょう？」

① 毎月、給料が残ったら貯金をする ② 給料をもらったら、使う前に貯金をする

① ☒ ② ☐ 理由: 目の前にお金があると使ってしまうがちなので、貯蓄を先に確保する方が増えやすい

7. 授業の振り返り

(1) わかったこと・身についたこと

(2) 今後、自分の生活にどのように活かしていきたいか

(省略)

(省略)

6. 参考資料

生涯の収入と支出に関する資料

ユースフル労働統計 2024 ―労働統計加工指標集

<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/kako/2024/index.html>

家計に関する調査資料

統計局ホームページ/家計調査

<https://www.stat.go.jp/data/kakei/>

未来を築く 生活設計と家計管理の実践

年 組 番 名前

1. あなたの夢は何ですか？ izzごろどんな夢をかなえたいかライフプランを考えてみよう

2. 夢をかなえるために必要な力「金融リテラシーって何？」

経済的に(①)し、よりよい生活に必要な「お金に関する(②)や(③)のこと
金融リテラシーを身につけることは(④)に繋がる

3. 生涯の「収入、支出のイメージをつかみましょう



※図は生涯総収入と生涯総支出の一例です

*金融庁
ライフプランシミュレーター



4. クイズ「就職先から給料は 20 万円と言われた。毎月 20 万円までなら使ってよい？」

○ ・ ×

理由:

5. ニーズとウォンツ

お金の使い方を考えるときは(優先順位)をつける

- ① ニーズの例を考えよう
② ウォンツの例を考えよう

6. クイズ「お金が貯まりやすいのはどっちでしょう？」

①毎月、給料が残ったら貯金をする ②給料をもらったら、使う前に貯金をする」

① ・ ②

理由:

7. 授業の振り返り

(1) わかったこと・身についたこと

(2) 今後、自分の生活にどのように活かしていきたいか